

2017年度目録委員会記録 No.1

第1回委員会

日時：2017年4月15日（土）14時～16時半

場所：日本図書館協会

出席：渡邊委員長、木下、河野、田代、津田、野美山、平田、村上、横山
<事務局>三浦、磯部

[配布資料]

1. 2016年度委員会事業報告（2ページ-A4、渡邊委員長）
2. 刊行に向けてのメモ（2017.4.15現在）（6ページ-A4、渡邊委員長）
3. 関西検討集会報告（5月12日東京検討集会用資料）（2ページ-A4、横山委員）
4. 検討課題洗い出し（3ページ-A4、横山委員）
5. 用語解説（Word版）（27ページ-A4、河野委員）
6. 用語解説 暫定版（Excel版）（20ページ-A3、河野委員）
7. 「付録F. 用語解説」案（暫定案）（冒頭1ページ-A4、渡邊委員長）
8. 付録#A.2 大文字使用法（53ページ-A4、村上委員）
9. 2016年度第11回目録委員会記録（案）（4ページ-A4）
10. 2016年度第10回目録委員会記録（4ページ-A4）

[報告事項ほか]

1. 議事録の確認

2016年度第11回目録委員会記録（案）（資料9）について確認した。渡邊委員長の4月14日付けのコメントを反映して最終版とする。

2. 2016年度委員会事業報告について

資料1に基づき、2016年度の目録委員会の事業報告内容を確認した。追加・修正がある場合は4月末までに委員長へ連絡する。

3. 新NCRの刊行に向けて

資料2に基づき、刊行までの作業スケジュールおよび作業分担を確認した。これまでに決まっている大枠からの変更はなし。また、5月12日に開催する東京検討集会のタイムスケジュールや配布資料、分担について確認した。

[検討事項]

1. 付録F. 用語解説について

資料5, 6, 7をもとに暫定版の公開に向けて最終確認を行った。

・公開用のWord版には用語、英語形、解説を載せるが、英語形は対応するRDAの用語で

あることがわかるように前文で説明する。

- ・フォントや行間を読みやすく調整したのちに公開版とする。

2. 付録 A.2 大文字使用法について

資料 8 に基づき内容について検討した。

- ・構成案としては、言語を問わない一般事項、英語、その他の言語と大きく 3 つに分かれている。RDA の付録 A. に沿った順序である。
- ・英語をはじめ言語ごとの扱いについて、RDA と異なる扱いをすることは考えられない。NCR として言語ごとの詳細な規定を用意すべきか、要検討。
- ・現状では、大学図書館では AACR2、NDL では RDA の規定を実際に参照している。
- ・日本語のローマ字形の記録や日本語の中にアルファベット形式の単語が出現した場合の記録などにも対応できる規定でなくてはならない。
- ・まずは、言語を問わない共通規定について検討する。大文字使用法について参照できる各言語共通の参考資料がないかどうか、担当者が調査する。

3. 課題の再整理

資料 4 について確認した。条文案で保留となっている課題を抜き出して Excel にまとめている。次回の委員会以降、順次検討を進める。

次回以降の委員会の予定

5 月 13 日 (土)

6 月 10 日 (土)

7 月 8 日 (土)

以上